

第4回国立国会図書館契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成21年11月16日(月)午前9時25分から午前11時20分 国立国会図書館総務課第二会議室	
委員長及び委員	委員長 山口俊明(公認会計士) 委員 本田実(城西国際大学IT教育センター教授) 委員 後藤和子(埼玉大学経済学部教授)	
審議対象契約期間	平成20年4月1日～平成21年6月30日	
指名停止の運用状況	平成21年1月1日～平成21年10月30日までに1社を指名停止としている。	
抽出事案(件)	4	(備考)事案総数 462件
競争入札(公共工事)(件)	0	
随意契約(公共工事)(件)	0	
競争入札(物品役務等)(件)	2	<p>契約件名:本庁舎及び構内敷地の警備1式 契約相手方:太平ビルサービス株式会社 契約金額:91,980,000円 契約締結日:平成20年4月1日 担当部局:総務部会計課</p> <p>契約件名:ナレッジベース基本機能の開発1式 契約相手方:ソラン株式会社 契約金額:42,000,000円 契約締結日:平成20年9月30日 担当部局:総務部会計課</p>
随意契約(物品役務等)(件)	2	<p>契約件名:国立国会図書館建築物等の保全 契約相手方:株式会社山武 契約金額:204,750,000円 契約締結日:平成21年4月1日 担当部局:総務部会計課</p> <p>契約件名:電子図書館基盤システムの運用保守 契約相手方:アクセンチュア株式会社 契約金額:524,916,000円 契約締結日:平成21年4月1日 担当部局:総務部会計課</p>
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり。	
委員会による意見の具申又は勧告	なし。	
抽出委員の選出	後藤委員を次回抽出委員に指定した。	

別紙

意見・質問	回答等
<p>・1社入札で、工数見積書を契約したところから取ったのは問題。外から見ると誤解を受けやすく、何か対応を考える必要がある。</p> <p>・競争入札でも1社入札が続くと、システムによっては特殊な仕事で仕方ないのかもしれないが、努力しているのかどうかと思う。</p> <p>・ファンクションポイント法(IFPUG)という積算方法がある。</p> <p>・予定価格はどのように試算しているのか？企業努力はどこで期待するのか？</p>	<p>・応札するつもりのない業者は工数見積書を出さない。それでも複数の応札者があれば問題ないが、本件では1社しか応札がなく、CIO補佐官が妥当という判断で良とするしかなかった。</p> <p>・システムを一から更新すると平等になるが、コストが高つくので、前世代のシステムを生かし少ない費用でまとめたい。他社への声掛けもしているし、CIO補佐官と相談し競争性を担保しようとしている。</p> <p>・事後確認に使用している事案もある。現段階では、その適用に当たっての難易度が高く、積算に使用しても、妥当性の検証が困難である。</p> <p>・ローテーション業務は、実人数から労働時間を積算し、労務単価を積み上げた。配置を考えてローテーションを組むと頭数が必要となるが、1人が複数の業務につくことで効率性が期待できる。 保守業務では、建築業務積算基準による積算。これに含まれていない部分は、見積合わせをして、より安価な見積書を採用した。</p>